

# 英語科学習指導案

日 時 平成24年10月18日(木) 5校時  
学 級 2年A組(男子12名 女子10名 計22名)  
場 所 English Room  
授業者 教諭 瀬戸 陽子

1 単元・題材名 PROGRAM 6 Sunshine English Course 2  
A Work Experience Program

2 単元について

(1) 教材観

本単元は職業体験を終えた生徒達とウッド先生のやりとりや、自分の将来について考えた生徒の発表場面を題材としている。将来の夢について話すことは、話題として生徒自身の話したいという欲求を満たすものである。to不定詞を使って、自分のしたいこと、行動の目的、何をするためのものであるかを英語で表現する能力を身につけることをねらいとした単元であり、2学期の英語学習goalとされている「My Project 5 将来の夢を語ろう」に内容とともに、大いに活用できる表現を習得できる単元として構成されている。また、本校の研究テーマ「表現力を育成する指導の在り方」に関連して自分自身のことを英語でも積極的に相手に伝えようとする態度を育成する題材としても適している。

(2) 指導観

NRT結果(H24.4月実施)

本校正答率	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
本校正答率	84.6	65.6	60.5	54.7
全国正答率	80.5	61.9	59.3	47.5
全国比	105	106	102	115

表現活動に直結する「話すこと」「書くこと」の領域はどちらも全国比を6~15ポイント上回っているが、本校正答率で最も高いのは「聞くこと」の領域である。聞く力が高いということは、相手の英語が理解できるのであるから、英語での応答する術を身につけ、慣れさせることで、英語でのコミュニケーション活動も自然な形でできるようにさせていきたい。

これまでも、授業の中で新出語句や文法を学習する際にそれらを用いた表現活動を行ってきたが、活用する表現も限られた内容で行うことが多く、それらを活用する場面はまだ少ない。今後も、英語を活用する場面を取り入れる工夫をした指導をしていきたい。

学習意欲の高い生徒が多く、授業中の学習活動によく集中し、積極的に挙手発言する。ペア学習やグループ学習を行うと理解力の高い生徒が、わからない生徒に教える場面が自然によく見られ、下位の生徒も助けられながら活動を進めている。教科書本文の読み取り学習の際に小グループ(3人)活動を取り入れているが、お互いの考えなどを交流しながら学習を進めることができる。この良さを生かし、英語でのコミュニケーション活動でも充実した言語活動ができるように指導していきたい。

### 3. 単元の目標

- (1) to 不定詞の名詞的用法を使って自分のしたいことが言えるようにする。
- (2) to 不定詞の副詞的用法を使って行動の目的を言えるようにする。
- (3) to 不定詞の形容詞的用法を使って何をやるものか言えるようにする。

### 4. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
to 不定詞を用いた文を積極的に運用したり、理解しようとしている	to 不定詞を用いて行動の目的を含んだ内容を正確に相手に伝えることができる	to 不定詞を用いた英語を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解することができる	to 不定詞の用法やその使い方がわかり、適切な場面で運用できる。

### 5. 単元の指導計画

- (1) Section ① . . . 2時間
- (2) Section ② . . . 2時間 (本時 1 / 2)
- (3) Section ③ . . . 2時間

### 6. 本時について

#### (1) 指導の目標

- ① to 不定詞の副詞的用法を用いて積極的に表現し相手に伝えようとしたり相手の言っていることを理解しようとしている . . . コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ② to 不定詞の副詞的用法を用いて行動の目的を言うことができる . . . 外国語表現の能力

#### (2) 本時の評価規準

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力
B	to 不定詞の副詞的用法を用いて表現したり、その英語を理解しようとしている。	to 不定詞の副詞的用法を用いて行動の目的を言っている。

#### (3) 本時の構想

- ・ 読解力を高める継続した取り組みとして、「読み物教材」を帯活動で行う。(個人活動)
- ・ 新出事項の含まれた Basic Dialog の音読練習を、発音、リズム、強弱、イントネーションなどに気を付け、相手に伝わるように音読練習する。(ペア活動)
- ・ to 不定詞の副詞的用法の導入を行い、行動の目的が言えるように練習する。(一斉及び個人活動)
- ・ to 不定詞の副詞的用法を実際に使える場面を設定し活用する。(グループ活動)
- ・ 各生徒、自分自身のことについて発表する。(個人活動)

(4) 本時の展開

	学習内容	学習活動	留意点 (評価)
導入 10分	1 挨拶 2 帯活動 3 学習課題の提示	1 英語で挨拶をする 2 「読み物教材」 3 学習課題を確認する	・ 元気良く声が出ているか ・ 「読み物」の内容を理解し設問に答えられたか
行動の目的を言えるようにしよう			
展開 37分	4 Basic Dialog 5 練習 6 課題解決 7 まとめ (発表)	4 ・教科書 p56 の Basic Dialog の音読練習 ・ to 不定詞の副詞的用法の理解 5 ①教科書 p56 Listening ②口頭練習 (ペア活動) 絵について to 不定詞を活用した英文を言う ③筆記練習 (個人) 絵について質問されたことに答える英文を完成させる→音読 6 クイズに挑戦 (グループ活動) " Where is it ?"  各グループで「ある場所」についてヒント英文を考え発表し、互いに当て合う活動 「行動の目的」がヒントになるようにする。 7 全員が 1 文ずつ修学旅行をテーマに自分自身のことで英文発表する。	イントネーションなど確認しながら行う。(ペア活動) ワークシートに記入しながら確認する。  ワークシート  <評価>→観察 ・ to 不定詞の副詞的用法を用いて表現したり、他者が言う英語を理解しようとしている。 ・ 積極的に活動に参加している。 【関心・意欲・態度】  <評価>→発表 ・ to 不定詞の副詞的用法を用いて行動の目的を言うことができる 【表現】
終結 3分	8 次時予告と家庭学習の確認 9 挨拶	8 宿題を確認 9 英語で挨拶	・ Basic Dialog の暗唱とワークシートの課題 ・ 元気良く声が出ているか